

rotary
youth
exchange



ロータリー青少年交換における 「多様性、公平さ、開放性」

LGBTQ+ (レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダ、クィア) の交換学生へのサポート

rotary youth exchange



国際ロータリー理事会は、ロータリーが「多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称える」ことを再確認しました。

ロータリーは、「少数派グループがロータリー青少年交換に参加できる機会が多く存在する多様で、公平で、開放的な文化を育む」ことに努めています。

ロータリー青少年交換の主な目的は、海外文化交流の機会だけでなく、平和と社会正義を推進するリーダーとして成長する機会を青少年に提供することです。この目的を満たすには、学生やロータリアンなど、交換活動に関わるすべての人が心を開き、お互いに支え合う必要があります。

ジェンダーやLGBTQ+コミュニティに関する信念、慣習、法律、用語は、世界中で大きく異なっており、LGBTQ+の学生が抱く安全面での懸念も交換が行われる地域によって異なります。このため国際ロータリーでは、個人のアイデンティティに関係なく全学生をサポートし、可能な限り包括的で多様な支援プログラムを作成できるよう、ベストプラクティスをまとめました。



多様性・公平さ・開放性に関する
ロータリーの取りみについてお読みください

ロータリー青少年交換 プログラムに参加するLGBTQ+ の学生が直面する課題

海外に行くことを決めたLGBTQ+の学生は、同年代の多くの人より大きな課題に直面することが多いものです。新しい文化に慣れるためのステップを踏むこと以外にも、考慮すべき個人的な要素があります。

例えば、性的指向を明らかにする「カミングアウト」の課題を自国で克服した学生は、海外で再びその課題と向き合わなければならないかもしれません。学生は、性的指向や性自認に対する受入れや理解の度合いが低い国や、まだ馴染みが薄い国や文化圏での留学生活を送ることがあります。

カミングアウトを決断していない学生は、ホストからどのように認識されるかという不安や、性的指向や性自認を他人に暴露される恐れなど、さらなるプレッシャーに直面する可能性があります。また、交換期間中に学生がカミングアウトすることも稀ではありません。



ストレスや心配といった課題に加えて、LGBTQ+の学生は、海外留学を決断する際に以下のことを自らに問うことがあります。

- ホストファミリーは私が「特定の性的指向、性自認」であることを見抜くだろうか
- 自分を受け入れてくれるだろうか
- 安全に過ごせるだろうか
- 自分をちゃんと表現できるだろうか
- ホストファミリーの家に安心して暮らせるだろうか
- ホストファミリーは安心してくれるだろうか
- 差別を受けるだろうか
- 公共交通機関で危険な目に合わないだろうか
- 受入地区はサポートしてくれるだろうか

すべての学生にとって安全で歓迎的な環境をつくる

申込書への記入、面接、オリエンテーションなどの際は、学生が自分自身でいられる環境を作りましょう。そうすることで安全で偏見のない環境が作られ、学生は自分のことを気にかけてくれているということを認識し、安心して自分を表現できるようになります。また、それによって受け入れる側もどのような支援が必要かを判断できるようになります。

- **すべての学生およびロータリアン／関係者とLGBTQ+について話し合う。** 開放的な環境を促進し、LGBTQ+の学生をサポートすると同時に、ほかの学生やロータリアン／関係者の間での認識を深めましょう。
- **LGBTQ+の学生のペースと判断を尊重する。** もし学生が自分のことを明らかにすると決めた場合、本人が納得するタイミングでそうできるようにしましょう。学生があなたにカミングアウトした場合でも、ホストファミリーや派遣地区の代表など、他の人にカミングアウトする準備はできていない場合があります。
- **不用意に他言しない。** 学生の希望に沿えるようにすることが重要であり、ほかのロータリアンやホストファミリー、学生へと不用意に話を広げないようにします。性的指向や性自認のような個人的なことを打ち明けるどうかは、本人が判断することです。
- **「彼」「彼女」などの表現に配慮する。** 相手が自分を「彼」または「彼女」など、どのように表現されることを望んでいるかを知ることが大切です。英語でコミュニケーションを取る場合も同様に、「he/him」や「she/her」という表現や、中立的な立場を表わす「they/them」が用いられることがあります。このように、自分の呼ばれ方に関して尋ね、相手の希望に沿うようにす



開放的な自己紹介をする：

- こんにちは。私の名前は___です。私が自分のことについて言及される場合は、(彼、彼女、その他)という表現を使用されることを望みます。あなたはどうか？
- 皆さんは、自分のことについて言及される際に、「彼」や「彼女」など、どのような言葉で表現されることを希望しますか？
- お互いに自己紹介しましょう！お名前と好きな食べ物を教えてください。また、皆さんは自分について「彼」とか「彼女」とか、どのように表現されることを希望しますか。

ることは、相手の性自認を尊重する姿勢を示す基本的な方法の一つです。相手の希望と異なる呼び方をすると、意図せず相手を不快な気持ちにさせてしまったり、疎外感を与えてしまったりするかもしれません。

- **可能であれば、ジェンダー（性差）を特定しない表現を用いる。**
相手がどのような呼ばれ方を希望しているか不明な場合は、ジェンダー（性差）を限定する表現を使用しないことが得策となります。具体的には、「彼」や「彼女」の代わりに名前と呼ぶ、「～君」や「～ちゃん」で区別せずに「～さん」で呼ぶ、「彼ら」や「彼女ら」の代わりに「学生の皆さん」とする、などが考えられます。
- **相手の性自認を認める。** 学生が自らが進んで打ち明けることができるように、開かれた環境を作るよう努めてください。憶測することは避け、相手が自分から性自認について話しだせるようにします。対面式の会合では、学生が自分の好きな呼ばれ方を示せる名札を使ってみることも一案です。また、最初に自分が自己紹介し、その際に「彼」や「彼女」などどのような表現で呼ばれることを希望するかを伝えることで、ほかの人が話しやすい雰囲気を作ることができるでしょう。相手の呼び方で間違えてしまった場合（よく起こることです）、率直に謝り、以後気を付けるようにすれば問題ありません。
- **LGBTQ+に関する自分の知識の度合いを認める。** LGBTQ+について分からないことが多くあるかもしれませんが、心配は不要です。回答できないことが出てきた場合は、学生にそのように伝え、より詳しく回答できる人を紹介しましょう。
- **親切に応じることが最も大切。** LGBTQ+に関する知識や経験にかかわらず、親切かつオープンな心をもって行動すれば、それが成長の機会となり、より寛容で理解のある世界というロータリーの目標に近づくことができます。



相手の性自認を認める：

- 学生が自らが進んで打ち明けることができるように、開かれた環境を作るよう努めましょう。
- 憶測は避けましょう。相手が自分から性自認について話しだせるようにします。
- 相手の呼び方で間違えてしまった場合（よく起こることです）、率直に謝り、以後気を付けるようにすれば問題ありません。

派遣地区における検討事項

派遣地区には、学生に交換留学の準備をさせ、前途に待ち受けるあらゆる機会と課題への準備をさせるという重大な責任があります。ロータリー青少年交換学生やその家族と協力する場合でも、すでに交換を開始している学生と連絡を取る場合でも、以下の点に注意してください。

- **学生が情報に基づいて自分で決定できるようにする。** 派遣先となりうる国におけるLGBTQ+への文化的傾向を学生が理解できるよう、リソースを提供することが不可欠です。ただし、LGBTQ+に対する文化的な状況だけで、派遣先の選択肢を狭めるべきではありません。その代わりに、自分の目標と期待に基づいて、どの国が自分にとって最適かを決めるのに役立つ事柄を検討するよう学生に促しましょう。
- **LGBTQ+の青少年交換学友と協力する。** 学友は心強いリソースとなります。LGBTQ+の学友がいる場合は、交換に参加できるかどうかを検討している学生に深い洞察を提供できるかもしれません。
- **オープンで正直に話し、透明性を保つ。** 交換時に学生が直面するかもしれない問題について、学生に率直に伝えることが重要です。言い換えれば、課題を現実的に理解する上で大きな要因となりうる詳しい情報を省いたり、言及を避けたりしてはなりません。同様に、交換を成功させるには、学生のニーズについてパートナー地区と率直にコミュニケーションを取ることが大切です。これはすべての関係者にとって重要で、学生が出発する前に適切なサポートを確実に提供し、交換中にロータリアン/ホストファミリーや学生が直面しうる深刻な問題を回避するのに役立ちます。



「ロータリー青少年交換は、学生が新しい環境に適応し、受け入れることを目的としています。トランスジェンダーの人びとにとって、ほかの人たちが互いの性自認を認めることが重要となります。この二つのことは、十分なケア、カウンセリング、サポートがなければ共存できません」

— マイケル・パークス (2018-19年度青少年交換役員、ドイツ・ハンブルグで開催された青少年交換役員大会前会議の分科会での発言)

- **医療やその他の必須のニーズについて話し合う。** 学生が自分の医療ニーズと交換中に発生しうるニーズについて検討することを促し、パートナー地区と協力してその医療ニーズを満たせる場所を特定しておきます。特に、医療やメンタルヘルスケアの面で、自宅と派遣先でどのように異なるかを検討できるよう支援してください。
- **学生のために自国と派遣先での強力なサポート体制を確立する。** 交換中の課題に適切に対応するために必要なリソースがあることを学生と確認しましょう。学生のニーズについて学生と話し、留学中の安全と福祉に影響を与えうるあらゆる側面についてパートナー地区に質問してください。
- **帰国後に包括的なオリエンテーションを実施する。** 帰国後のオリエンテーションは、出発前のオリエンテーションと同じくらい包括的であるべきです。留意点：すべての学生は帰国後に何らかの逆カルチャーショックを経験しますが、LGBTQ+の学生が直面する固有の課題にも注意しましょう。学生は派遣先で自分のアイデンティティに関してさまざまな形で対応しますが、帰国後に再び、対応や調整を行うという課題に直面することになります。



適切な質問：

派遣先でのLGBTQ+に対する状況について学生がより良く把握できるよう、以下を検討することができます：

- 派遣先の国では、ジェンダーについてどのような考えが主流か。
- 派遣先となる地域社会では、ジェンダーごと（または男女別）の役割についてどのような認識があるか。
- 派遣先の国では、男性、女性、トランスジェンダーの人びとに対するどのような認識と期待があるか。
- 派遣先の国は、私の国や文化について、どのような固定観念があるか。
- 派遣先の国では、男性が女性に、また女性が男性に一般的にどのように接しているか。
- 派遣先の国では、性別によって政治力や社会力に違いがあるか。
- 派遣先の国で社会的に受け入れられている性別役割についての支配的な考え方と、自分の考え方の間には、どのような違いがあるか。

受入地区の検討事項

学生とその家族は交換期間中のサポートとケアを受入地区に委ねることになります。地区は次のことができます：

- **派遣地区と同様、オープンかつ誠実に対応する。**特に安全性に関連するリスクがある場合は、パートナー地区や学生と、受入環境の現状について率直に話し合ってください。例として、一部の国では、少数グループに対する社会的態度が法律と異なる場合があります。来訪するかどうかを学生が十分に検討した上で決め、留学生活の準備を整えることができるよう、(自分の個人的な信念とは異なる場合でも) 自国の文化的な状況について正直に伝えてください。
- **交換開始前に受入学生と連絡を取る。**出発前に学生の懸念事項について話し合うことで、学生の不安を和らげましょう。連絡を取る相手がホストファミリーまたはカウンセラーであるかにかかわらず、協力関係を早期に築いてください。
- **関与するロータリアン／ホストファミリーを厳選し、支援を提供する。**交換を成功させるには、学生を支援するホストファミリー、カウンセラー、学校関係者などのボランティアにも十分に支援を提供する必要があります。学生が派遣先でサポートをお願いできる人や、LGBTQ+の学生を受け入れた経験のある家族と連絡を取り、学生のためのサポートネットワークを築きましょう。



派遣先の地区への質問：

- 学生が入学する学校は、受容性があるか。
- ホストファミリーは、受容性をもって学生を支援することに前向きか。
- LGBTQ+の学生が直面する課題を理解している、あるいは理解に努めるカウンセラーは任命されるか。

- **地元に関連団体と協力する。**可能であれば、地元のLGBTQ+関連団体をオリエンテーションに招いて話をしてもらい、交換中に学生、ロータリアン、ホストファミリーが利用できるリソースを紹介する。また、地区の緊急連絡先にLGBTQ+の危機対応ホットラインの情報を含め、学生の到着時に連絡先のリストを渡す。
- **学生のための支援ネットワークを築く。**LGBTQ+を受け入れた経験がある家族と他のホストファミリーとのつながりを築き、ベストプラクティスを共有してもらいましょう。また、LGBTQ+の学友をオリエンテーションに招き、受入学生のメンターとなってもらうこともできます。LGBTQ+の学友は、経験に基づいて学生にアドバイスをし、地元の文化や慣習について洞察を紹介してくれるでしょう。

事例紹介

アレックスさんは2016年、第6900地区のロータリー青少年交換プログラムに応募した当時、まだ家族にも自分がトランスジェンダーであることを知らせていませんでした。女性としてプログラムに申請し、交換学生として選ばれました。交換の準備期間が後半に入り、アレックスさんはトランスジェンダーであること、そして男性として留学生活を送る意志を家族と地区の役員に伝えました。

留学生なら誰でも経験するように、アレックスさんも課題に直面しましたが、トランスジェンダーの交換学生として、課題の克服にはさらに強い熱意や忍耐が必要とされました。しかし彼は、適切にコミュニケーション、連絡、計画を行い、熱意と成熟した考えをもって行動すれば、素晴らしい交換活動ができることを身をもって証明しました。

— マイケル・パークス (第6900地区青少年交換役員)

紹介できるアイデア、ベストプラクティス、ストーリーがある場合は、青少年交換プログラム担当部 (youthexchange@rotary.org) にお寄せください。

RIからのサポート

RIは、最近実施した年次調査の結果に基づき、LGBTQ+の学生を受け入れるために十分な支援を行っている地区を特定しました。LGBTQ+の学生を派遣するにあたって支援が必要な場合は、青少年交換プログラム担当部 (youthexchange@rotary.org) にご連絡ください。

その他のリソース

交換学生（青少年交換への参加を検討しているLGBTQ+の学生を含む）のためのアイデア、情報、検討事項について、以下のリストをご参照ください。これらの資料はあくまで参考とすることを目的としており、RIが承認したものではなく、包括的リストではないことにご留意ください。各リンクをクリックしてご覧ください。

- [ヒューマン・ライツ・ウォッチ](#)
- [海外留学研究所 \(Institute for Study Abroad\) 留学ガイド](#)
- [IES Abroad 国別の多様性に関するリソース](#)
- [国際レズビアン・ゲイ協会 \(International Lesbian, Gay, Bisexual, Trans and Intersex Association、略称ILGA\) 性的指向法のマップ](#)
- [NAFSA \(米国の国際教育交流団体\) : Association of International Educators — Rainbow Special Interest Group](#)
- [OutRight Action International](#)



2019年青少年交換役員大会前会議での多様性と開放性に関するプレゼンテーションをご覧ください。このボックスをクリックしてプレゼンテーションをご覧くださいいただけます。

用語

以下は、性的指向や性自認に関する用語の簡潔な説明です。これらは包括的な情報ではありませんので、ご自身でさらにお調べいただくことを推奨いたします。

アライ (Ally) : LGBTQ+ではないが、LGBTQ+の人びとを支持し、さまざまな面での公平性を推進する人。

エイセクシャル (Asexual) : 人に対して性的欲求や恋愛感情を抱かないこと。

バイセクシャル (Bisexual) : 感情的、恋愛、または性的に、1つ以上の性、ジェンダー、または性同一性に引きつけられる人。ただし、必ずしも同時に起きたり、同じ程度であったりするわけではない。

シスジェンダー (Cisgender) : 生まれたときに割り当てられた性別と性同一性が一致し、それに従って生きる人を指す言葉。

クローゼット (Closeted) : 自身の性的指向や性同一性を開示していないLGBTQ+の人。

カミングアウト (Coming out) : 自分の性的指向や性同一性を認識かつ受容し、そのこと他者と共有し始めるプロセス。

ゲイ (Gay) : 同じジェンダー (性別) の人に感情的、恋愛、または性的に惹きつけられる人。

性同一性 (Gender identity) : 最も内的な自己の概念で、男性であるか女性であるか、その両方の混合体であるか、どちらでもないか、つまり、個人がどのように自分を認識し、自分自身をどのように呼んでいるかということ。性同一性は、出生時に割り当てられた性と同一である場合も異なる場合もある。

同性愛嫌悪 (Homophobia) : 同性に惹かれる人に対する恐れや嫌悪、不快感。

レズビアン (Lesbian) : 感情的、恋愛、または性的に他の女性に惹きつけられる女性。

パンセクシャル (Pansexual) : 必ずしも同時に、同じように、または同じ程度にはないが、あらゆる性別の人びとに感情的、恋愛、または性的な魅力を感じる可能性がある人を指す。

LGBTQ+の「+」 : 従来の、または頻繁に使用される略語であるLGBTQに加えて、他の性的指向、性同一性、またはアライ (上記を参照) を含めた表現。

クィア (Queer) : 性同一性や性的指向における少数者全体を包括する用語で、LGBTQと同意義で使用されることが多い。

性的指向 (Sexual orientation) : 他者に対する生来のまたは不変の永続的な感情的、恋愛、または性的な魅力。

トランスジェンダー (Transgender) : 性同一性および (または) 表現が、出生時に決められた性別に基づく文化的期待と異なる人びとに対する包括的用語。トランスジェンダーとは特定の性的指向を示唆するものではなく、ストレート、ゲイ、レズビアン、バイセクシャルなどとして認識することができる。

用語の参照元 : The Human Rights Campaign (U.S.).



ロータリーと共に変化をもたらそう

差異があることを大切に、多様な視点を受け入れ、学生のための公平な機会を確保することで、学生とその家族を歓迎する環境を作り出し、学習と成長のための素晴らしい機会をつくることができます。複雑化する世界の課題に取り組み、平和と理解を促進する未来のリーダーを育てるには、ロータリー青少年プログラムのリーダーとして、多様性、公平性、開放性を尊重することが不可欠です。これを基本原則として優先することで、地域社会ひいては世界の力と豊かさが多様性から生まれるということを、学生に教えることができます。

ロータリーにおける多様性、公平性、開放性の構築と若い人びとへの支援にご協力をお願いいたします。